

学校の中でスクールカウンセラーはどうあるべきか？

ーアメリカにおけるスクールカウンセラーの働きからー

5月25日 | 土曜日 13:30～16:30 (受付開始13:00)

法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー11F 心理学実験室

カウンセリングだけではなく、コンサルテーションやSEL（ソーシャル・エモーショナル・ラーニング）を含む心理教育など、スクールカウンセラーの役割が重要性を増す中、教職員との連携・協働や心理教育実践などをどのように進めていくのがよいのか？ーアメリカにおけるスクールカウンセラーの働きから学びます。

講師：山下 桃子

（ユタ大学病院精神科クリニック・元ユタ州学校心理士）

ファシリテーター：渡辺 弥生（法政大学 文学部 心理学科）

参加費：日本SEL研究会会員 | 無料 非会員一般 | 2,000円 非会員学生 | 500円

参加申込は下記ウェブサイトから（事前申込締切：5月23日（木）23:59）

※お申込み人数によっては当日参加も可能ですが、事前申込がない場合、お席や資料の用意ができないことがあります。

教職員との連携

・協働

心理教育実践

特別支援教育への対応